

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

大館市創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

秋田県大館市

3 地域再生計画の区域

秋田県大館市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は 2015 年以降、年間平均で約 1,000 人の減少推移となっており、2020 年には 69,237 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると 2040 年には 48,849 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口推移をみると、15 歳未満は減少が続き、そのことが 15～64 歳の減少、さらには次の世代の年少人口の減少を招いていると考えられる。また、年齢 3 区分別での人口割合を比較すると、15 歳未満の割合が低下し、2020 年には全体の 1 割以下になる一方で、65 歳以上の割合が増加し、2040 年には 15～64 歳の割合が 65 歳以上の割合を下回ると推計されている。

本市の自然動態をみると、出生数は 2000 年の 680 人をピークに減少傾向にあり 2020 年には 319 人となっている。その一方で、死亡数は 2020 年には 1,204 人と増加傾向にあり、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲885 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2000 年以降、転出が転入を上回る「社会減」の状態が続いており、現在では、▲200～300 人前後となっている。人口減少の要因は、出生数の減少や進学に伴う転出及び雇用のミスマッチによる若者の流出などが考えられ、企業立地の促進や産業人材の育成等への取り組みに一定の効果が表れているものの、これらを短期的に解決することは困難な状況である。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域経済の衰退、地域コミュニテ

ィの弱体化等、市民の暮らしへの影響は避けられず、地域社会全体の衰退が懸念される。

そのなかで地域の活力を維持するため、地域内産業の活性化とともに多様な働き方を実現できる雇用環境づくりによる地域の稼ぐ力の強化、また、地域資源を活用し国内外からの多くの人が集まる賑わいの創出を図る一方、子育てや生活を支援することで、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいく。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 命を守り育む 暮らしづくり
- ・基本目標 2 こども・おとなが共に学び合う ひとづくり
- ・基本目標 3 力強くひと・ものが行き交う なりわいづくり
- ・基本目標 4 未来を見据えた国内・世界への 架け橋づくり
- ・基本目標 5 住みやすく災害に強い まちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.38人	1.63人	基本目標 1
	婚姻数	175件	159件	
	結婚新生活スタートアップ 支援事業申請者数	23世帯	26世帯	
	病児保育事業施設数	1 箇所	3 箇所	
	放課後児童クラブ待機児童 数	30人	0 人	
	健康づくりチャレンジ事業 所認定事業所数	36事業所	52事業所	
	特定健康診査受診率	35.1%	39.0%	
	健康ポイント事業参加者数	1,974人	2,080人	

推定1日食塩摂取量の平均値	9.72 g	8.47 g
傾聴ボランティア養成講座 修了者数	10人	14人
健康高齢者割合(65歳以上人口のうち要介護認定を受けていない者の割合)	79.7%	82.0%
認知症サポーター数	330人	900人
訪問型生活支援サービス事業（訪問型サービスB）	1 団体	5 団体
障がい者サポーター養成講座等理解・啓発セミナー	80人	100人
まちづくり団体事業費補助金（町内会備品購入事業）	43団体	113団体
男女共同参画セミナー等の開催回数	1 回	3 回
再犯防止推進計画(刑法犯検挙者中の再犯者数)	30人	24人
個別避難計画の作成	0 地区	8 地区
訪問看護件数（総合病院）	0 件	3,800件
訪問診療、訪問看護件数（扇田病院）	2,040件	2,040件
市外からの救急車受け入れ数	135台	144台
レスパイト入院受入れ人数(総合病院)	6 人	14人
認定看護師数(資格取得者数)及び特定行為研修修了者数(総合病院)	11人	15人

イ	子どもハローワーク 参加人数	860人	940人	基本目標 2
	休日の運動部活動の地域移行部活数	11部活	30部活	
	電子黒板の年間利用回数(1クラス当たり)	50回	160回	
	学校防犯カメラ等の整備	6校	25校	
	社会人の学び直しの受講者数	288人	1,100人	
	生涯学習講座受講者数(大学公開講座、達人講座、出前講座)	6,500人	7,100人	
	社会教育講座	0講座	4講座	
	障がい者の生涯学習講座数	6講座	8講座	
	家庭教育推進事業(おしゃべりひろばひだまり、子育て講座)参加者数	1,767人	2,000人	
	木育事業の回数	26回	30回	
	デジタル申請による20歳を祝う会の参加率の向上	68.0%	72.0%	
	郷土芸能を発表する団体数	11回	11回	
	埋蔵文化財の企画展等開催数	1回	3回	
ウ	新規就農者数	9人	12人	基本目標 3
	園芸作物販売額(主要6品目) ※1	3.3億円	4.3億円	
	農地集積率	62.1%	63.3%	
	林業・木材産業雇用者数	280人	284人	
	再造林率の向上	12.3%	53.0%	

	森林認証材供給量	0 m ³	5,320m ³	
	素材生産量	98,991m ³	111,000m ³	
	雇用等創出数(条例指定工場従業員数)	5,522人	5,500人	
	製造品出荷額等	1,541億円	1,785億円	
	地元食材を活用した新ブランドの創出件数	0 件	2 件	
	資格取得者数及び技能研修受講者数	296人	300人	
	起業件数・事業承継件数	14件	16件	
	空き店舗の再生件数	0 件	3 件	
	大館駅インランドデポのコンテナ取扱量	0 T E U	7,700 T E U	
	再エネ利用率（利用面積/対象工業団地総区画面積）	0.0%	20.0%	
	D X・G Xによる経営革新件数	0 件	2 件	
	実証実験の実施数	0 件	1 件	
エ	観光入込客数※ 2	180万人	300万人	基本目標 4
	一人 1 回当たりの観光消費額（県外からの宿泊客）	29千円	42千円	
	友好都市等交流事業助成金利用件数	0 件	12件	
	ふるさとワーキングホリデー参加者	8 人	10人	
	A ターン者数(秋田県移住定住登録制度を経た移住者数)	22人	50人	
	二地域居住事業における連携民間企業数	0 件	5 件	

	合宿誘致数	200泊	400泊	
	A I カメラ配信試合数	80試合	210試合	
	スポーツサポーターの登録者数	4人	110人	
	体成分分析装置による測定者数	233人	400人	
	定例ポッチャ交流会「はちくんチャレンジ」の開催	3回	6回	
オ	平均地価変動率の改善	-6.0%	-4.2%	基本目標 5
	一人当たりの都市公園面積	16.6㎡/人	17.4㎡/人	
	市道改良率	80.3%	80.7%	
	市道舗装率	78.7%	79.1%	
	包括的民間委託範囲率	20.0%	100%	
	水道施設耐震化率	41.4%	71.2%	
	下水道普及率	61.9%	65.5%	
	生活排水処理人口普及率(下水道、農業集落排水、浄化槽)	80.9%	85.0%	
	個人設置型合併処理浄化槽の補助金交付件数	40基	220基	
	工業用水道施設利用率	67.1%	75.0%	
	電子申請	33種類	40種類	
	公開型GISの公開	0種類	12種類	
	スマホセミナー、移動スマホ教室	0回	40回	
	A I チャットボットの利用者満足度	0.0%	70.0%	
	バリアフリー改修の支援	0件	12件	

空家等解体撤去費補助金利用件数	8 件	88件
空き家（空き地）対策各種セミナー・無料相談会参加者数	300人	1,500人
大館市斎場建設事業実施件数	0 件	1 件
大館市温室効果ガス総排出量の削減	15.0%	31.0%
ペレットストーブ設置費補助金事業件数	91件	103件
リサイクル率	10.38%	18.9%
電気自動車等（EV、PHEV、ハイブリット等）の台数	10台	13台
防災訓練等参加者数	300人	1,500人
危険ブロック塀等の撤去への支援	2 件	28件
携帯アプリの登録者数	27,000人	30,000人
新規加入消防団員数	25人	25人
リーダー研修参加者・防災士登録者	0 人	24人
大館警察署管内刑法犯認知件数（1～12月）	131件	111件
通学路防犯灯整備区間数	8 区間	16区間
大館警察署管内交通事故件数（1～12月）	98件	78件
通話録音装置貸出し台数	7 台	15台

※1 大館とんぶり、山の芋、アスパラガス、えだまめ、ねぎ、キュウリ

※2 宿泊数と日帰り客数、温泉施設入浴数の合計

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

外に強く、内に優しいまちづくり事業

ア 命を守り育む 暮らしづくり事業

イ こども・おとなが共に学び合う ひとづくり事業

ウ 力強くひと・ものが行き交う なりわいづくり事業

エ 未来を見据えた国内・世界への 架け橋づくり事業

オ 住みやすく災害に強い まちづくり事業

② 事業の内容

ア 命を守り育む 暮らしづくり事業

妊娠・出産・子育て期のライフステージに応じた切れ目ない支援、地域包括ケア体制の充実、福祉のまちづくりの推進、医療圏拡大を見据えた地域医療体制の強化など、命を守り育むに資する事業。

【具体的な事業】

- ・大館市ほっとワンツー応援事業
- ・健（検）診の受診率向上対策事業
- ・地域生活支援拠点等整備事業 等

イ こども・おとなが共に学び合う ひとづくり事業

「おおだて型授業（響学）」の推進、ICTを活用した学校教育の推進、世代を問わず学び続ける人材の育成、木育事業を活用した世代間交流の創出など、ひとづくりに資する事業。

《具体的な事業》

- ・ふるさとキャリア教育夢事業
- ・ふるさとキャリア教育ステップアップ事業

- ・木育推進事業 等

ウ 力強くひと・ものが行き交う なりわいづくり事業

次世代への技術継承、デジタル技術の普及促進による林業の生産性向上、鳥獣被害対策の防止、地元食材を原料とした加工商品の開発とブランド化の推進、地域課題の解決をテーマとした企業との協働による実証実験の促進など、なりわいづくりに資する事業。

《具体的な事業》

- ・アグリイノベーション事業
- ・デジタル林業導入支援事業
- ・森林資源循環事業
- ・未来技術実証支援事業 等

エ 未来を見据えた国内・世界への 架け橋づくり事業

ハチ公生誕 100 年事業が紡いだ縁を次世代へつなぐ取り組みの促進、秋田犬・忠犬ハチ公のふるさと大館の積極的なPRと広域的な交流促進、広域圏の自治体と連携した観光の促進、Aターン移住・定住希望者の受入体制づくりの充実及び定住促進、スポーツツーリズムの推進など架け橋づくりに資する事業。

《具体的な事業》

- ・地域連携DMO形成事業
- ・渋谷区との交流の絆事業
- ・スポーツサポーター事業
- ・インボディ活用事業 等

オ 住みやすく災害に強い まちづくり事業

地域コミュニティを維持し続けるエリアとしての居住環境の形成、自動運転サービス実証試験等の推進、デジタルデバイドの解消の促進、再生可能エネルギーの導入・推進、地震対策・国土強靱化の推進などまちづくりに資する事業。

《具体的な事業》

- ・景観改善推進事業
- ・大館版 mobi プロジェクト

- ・包括的民間委託事業
- ・木質バイオマス利活用推進事業 等

※ なお、詳細はおおだて未来づくりプランのとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標(K P I))

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000 千円（2026 年度～2027 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度7月頃に本市の総合戦略推進懇談会（産業界、教育機関、行政機関、金融、労働団体の産・学・官・金・労からの11名）により、事業の効果検証を行い、事業手法を改良することとする。

検証結果については、速やかに本市議会及び本市公式WEBサイト、本市広報誌等で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2026 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで